

町長マニフェストに係る事業進捗評価（令和4年3月31日現在）

「町民が幸福で豊かな生活ができる町」を目指し、人や産業を育てる施策(ソフト事業)、人や地域や産業に寄り添った行政サービス、後世に負担を残さない行政を目指します。

マニフェスト基本方針

1. 豊かで住みよい町づくり
2. 地元産業が元気になる町づくり
3. 安全・安心な町づくり
4. 心やすらぐ町づくり
5. 自立した町づくり

進捗評価

事業進捗評価に当たっては、各施策の進捗状況について、5つの基本方針に基づく**合計30の項目毎**にどの程度実施できているかという視点から、右記のとおり4つの進捗度指標により評価する。

進捗度	コメント
A	達成済
B	達成に向け、進捗が見られるもの
C	進捗度の低いもの
D	未実施

1. 豊かで住みよい町づくり

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
1-1	子育てサポート体制の充実 （保育園の運営、情報交換の場の創出） 【方針】 ▶ 保育園運営形態の検討	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：住民課 副：健康福祉課 副：教育課	▶ 保育園の運営方法について、R2年度に公立保育所としての運営継続が望ましいという協議結果を受けて、今後の園児数の減少等を踏まえながら公営による最適な運営方法について継続して協議を続けていく。 ▶ R1年度に開設した病後児保育「わんわん」について、利用登録者数が49名となっている。（R4年3月11日現在） 今後、幼児スペース機能の拡充、病後児保育だけでなく預かり保育を検討するなど、より利用しやすい形態を指定管理者と協議していく。 ▶ 要保護児童・要支援児童の状況報告及び確認を行い、関係機関と連携している。（4ヶ月に1回） なお、緊急性が高いケースについては、関係機関と個別ケース検討会を開催し、支援の在り方を検討して対応している。 ▶ H31年4月に「子育て世代包括支援センター」を役場内に設置。 ⇒ 妊産婦及び乳幼児並びにその保護者を対象に、妊娠期間から出産・育児期にかけて切れ目ない支援を行う。 ▶ 「げんかいいこアプリ」について、R3年4月1日から本格稼働し、町から利用者に対して、各種制度・サービスの案内、妊娠中及び予防接種等の記録管理を行っている。

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
1-2	学校生活の支援 (給食費無償化) 【方針】 ▶ 学校給食費の無償化 ▶ 奨学金返済の負担軽減	A	達成済	主：教育課	▶ 玄海町学校給食費補助金交付要綱をH31年3月に制定。 みらい学園児童の保護者を対象に説明会を実施し、 同年4月から給食費の無償化実施 。 ▶ H26年3月31日以前の奨学金貸付分について、現行と同じ返済期間に統一し負担の平準化を図るため、R1年12月議会にて 奨学資金貸付条例 を改正。 ▶ R3年度から 玄海みらい学園入学祝金 を開始して、対象者43名に対して給付を行った。
1-3	個性を伸ばす教育の推進 【方針】 ▶ タブレット学習の導入	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：教育課	▶ タブレット学習について、タブレット555台をR2年8月に納品し、同年9月授業から タブレット学習を開始 。 ▶ プログラミング学習について、前期課程はR2年10月から授業へ導入。後期課程は、R3年度に導入し、 全学年でのプログラミング学習 に対応した。 ▶ 部活やスポーツ・習い事との両立を図りながら、学力の更なる向上を図るためまた、学力向上により将来の選択肢・可能性を広げる支援を行うため、株式会社さなる九州と連携し、R3年4月に 公営学習塾（九大進学ゼミ玄海校） を開校した。
1-4	図書館の拡充、児童館の新設 (図書館新設、図書購入助成金) 【方針】 ▶ 図書館(複合施設)の整備検討 ▶ 児童館新設の検討	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：教育課 副：住民課	▶ R1年度に「玄海町図書館整備検討委員会」を設置。 7回の委員会と2回の先進地視察を実施し、最終的に検討結果報告書をまとめ、R2年3月議会で調査及び検討結果を報告した。 ▶ R2年度は4回の策定検討委員会、3回のワークショップを開催し、複合施設を含む図書館の規模、機能、整備場所などを協議し、パブリックコメントを踏まえて、玄海町図書館等複合施設基本構想をR3年3月に策定した。 ▶ R3年度は、導入機能・規模、施設計画の明確化、整備における課題の把握、事業化条件の明確化等、設計を進めるにあたって必要となる 玄海町立図書館等複合施設基本計画 を策定した。今後、図書館の整備費用の縮小や既存施設の活用、児童館新設の是非など、町民の理解を十分に得られるよう、広く町民への広報と啓発に力を入れていくように努めたい。 ▶ 令和2年度からポイントカードに付与されたポイントを1,000円分の図書カードと交換することができる 図書館ポイント事業を開始 した。今後も図書に触れ合う機会の増加を図っていく。 ▶ 児童館について、令和3年2月に児童館に関する保護者説明会を開催し、検討状況を説明した。また、同年3月に策定した玄海町立図書館等複合施設基本構想では、 児童館を複合施設の1つ として方向性が示されている。 ⇒ 図書館との複合施設として児童館を新設予定。今後、児童数減少を見据え、2館の統合を含め検討を行っていく。

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
1-5	働く場の創出	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：企画商工課	▶ 玄海町みんなの地域商社を設立し、住民の雇用機会の創出に繋げた。
1-6	交流拠点の創出	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：企画商工課	▶ R2年度に浜野浦の棚田で「青空レストラン」、海上温泉パエリアで「うみやまるしえ」を開催し、交流拠点の創出に向け、試行事業を実施した。 ▶ R2年度に町内の公共・観光施設内に住民や観光客が簡単に利用できる無料WiFiを設置し、施設内で過ごしやすい環境を整備した。（防災安全課）
1-7	移動手段の確保 （交通弱者、買い物難民の対策）	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：防災安全課 主：健康福祉課	▶ H30年度から運行開始した玄海町コミュニティバスについて、マイクロバスを導入したことに伴い、R2年8月から1台運行から2台運行へ運用を変更した。併せて、時刻表・走行ルートを改正した。改正後の利用状況、利用者等からの要望、及びコスト面を踏まえ、利便性向上のための見直しや、見直しにおける基準等の検討を進める。 ▶ R3年度は、予約型乗合タクシー（デマンド交通）について、導入済自治体への視察を実施し、高齢者へのアンケート調査を行い現状分析を行うなど、調査検討を進めている。 ▶ 高齢者の交通事故の抑止を図るため、R2年度から運転免許証自主返納支援事業を開始した。移動手段が変わることから、バス等に利用できる交通サポート券を交付し、免許証返納代行申請の受付を行った。 事業開始に伴い、例年に比べ免許返納者が増加している。引き続き、本事業の普及に努め、高齢者の交通事故の抑止を図っていく。 ▶ 買物弱者への支援策について、事業者が移動販売車を活用した商品販売を行えるよう事業開始に伴う費用の一部を補助する買物弱者支援事業を実施し、R3年3月から移動スーパー「とくし丸」による移動販売を開始した。 また、移動販売を通して高齢者の異変をいち早く発見し関係機関へ連絡調整を行うため、玄海町高齢者見守り活動に関する協定を株式会社Aコープ九州と締結した。
1-8	医療、生活の支援 （経済的負担の軽減、じいちゃんばあちゃん助成金） 【方針】 ▶ 後期高齢者への医療費助成 ▶ じいちゃんばあちゃん助成金	A	達成済	主：健康福祉課	▶ 後期高齢者医療費助成について、後期高齢者の保健の向上と福祉の増進を図るため、R3年3月に玄海町後期高齢者の医療費の助成に関する条例を制定。後期高齢者の医療費の自己負担額について、3万円を上限として助成する本町独自の医療費助成制度を開始した。 ▶ じいちゃんばあちゃん助成金について、高齢者の日常生活や外出時の安全性の更なる向上のため、R2年度からシニアカーをR3年度からポータブルトイレ等を対象品目に追加した。

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
1-9	看護、介護の支援 (介護環境・地域包括ケアの充実)	B	達成に向け、 進捗が見られるもの	主：健康福祉課 副：住民課	▶ R2年度に在宅医療・介護連携事業の一環で、唐津市及び唐津東松浦医師会と連携し、老後の生き方を考える冊子「いきたノート」を製作し、配布。 ▶ R3年度から介護専門職人材を確保し、町民が安定した介護サービスを受けられるようにするため、町内の介護施設に就職する者を対象とした介護職員等就職支援奨励金制度を開始した。 ▶ 子どもの医療費助成事業について、医療費助成の対象年齢を15歳から18歳に引き上げを行った。(R1年10月1日施行) ▶ 在宅で0歳児から2歳児までの子育てをしている世帯への支援を検討している。出生祝金受給時のアンケートを踏まえ、制度設計を行う。 ⇒ 出生祝金の見直しを含め、どのような支援内容とするか慎重に検討。
1-10	健康意識の向上 (保健体制の充実、保健師の増員)	B	達成に向け、 進捗が見られるもの	主：健康福祉課	▶ R4年度から保健師3名を新たに任用し、保健体制の強化に繋げていく。 ▶ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取組み(正規職員の保健師等を専従させ、データ分析、保健事業の企画調整を行う。)を実施する必要がある。
1-11	生活困窮者救済	B	達成に向け、 進捗が見られるもの	主：健康福祉課	▶ 佐賀県生活自立支援センターが実施する家計改善支援事業、就労準備支援事業(佐賀県からの委託事業)や役場の各種相談事業の実施。 ▶ 生活保護申請について、R2年度に比べR3年度は、コロナの影響が比較的減ってきている状況。引き続き、関係機関と連携し、町として適切に対応していく。

2. 地元産業が元気になる町づくり（「2-4」「2-5」：R2年度新規追加項目）

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
2-1	担い手不足の解消 （新規就業や外国人技能実習生の支援）	B	達成に向け、 進捗が見られるもの	主：農林水産課	▶ R3年度から担い手育成事業（漁業）として、新たに漁協の正組合員になった者を対象とした 新規就業支援策（次世代人材投資資金・家賃補助金） を開始した。
2-2	生産から販売まで必要に応じた支援（高付加価値化、販路拡大漁協合併） 【方針】 ▶ 漁協合併化	B	達成に向け、 進捗が見られるもの	主：農林水産課 副：企画商工課	▶ 漁業合併について、合意形成を図るため、継続して両漁協と調整していく。 ▶ R2年度に浜野浦の棚田で耕作している生産者と協力し、「 浜野浦の棚田米 」を開発し、ブランド化支援を行った。 ▶ R3年度に玄海町産品の販路の多様化に繋げるため、玄海町みんなの地域商社が運営する ECサイト「ごろっと玄海」 が開設された。
2-3	運転資金の有効活用 （123の充実等）	A	達成済	主：企画商工課 副：農林水産課	▶ 玄海町元気1・2・3産業振興資金について、H31年4月に融資限度額を1,000万円に引き上げた。 ⇒ R2年度から補助事業の裏財源に充てられるように運用を変更した。
2-4	地域資源を活かした外貨を稼ぐ地域づくり 【方針】 ▶ 地域総合商社の設立	A	達成済	主：企画商工課	▶ 町内の産品などを、町外（主に都市部）に販売することで外から内へ「外貨を稼ぎ入れる」事業を実践し、町内事業者の所得向上と玄海町を応援する町外のファンづくりを目指すため、 玄海町みんなの地域商社 をR3年2月に設立した。 R3年度から、ふるさと納税受託事業、EC（通販）事業、外販事業、観光体験事業など本格的に事業を開始した。 ⇒ 地域商社には、玄海町、仮屋・外津漁業協同組合、唐津上場商工会、唐津農業協同組合が参画。
2-5	新たな産業資源の創出 【方針】 ▶ 薬用植物に係る産業推進	B	達成に向け、 進捗が見られるもの	主：農林水産課	▶ ミシマサイコやドクダミなどの薬用植物（栽培原材料）の生産拡大を図りながら、薬用植物栽培研究所、ジャパンコスメティックセンター及び関係自治体（佐賀県、唐津市）と連携し、薬用植物市場への 販路展開に繋げる 。 ▶ R3年4月に生産者と事業者を繋ぐ仲介役となる 玄海町薬草生産組合 が発足した。 ▶ ミシマサイコ茶のペットボトル の製造が決定し、味の調整・ラベルの表示内容・栄養成分の調査を実施し、 R3年3月に完成 した。 R3年度には、希望者100名に対する試飲モニター調査を実施し、ミシマサイコ茶に含有するとされるサイコサポニンについて九州大学に依頼し定量分析等を行った。これらの調査結果を基に、玄海町みんなの地域商社と連携し、ミシマサイコ茶を販売できるように進めていく。

3. 安全・安心な町づくり

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
3-1	水環境など公害の防止 (バイオマス整備、藤ノ平ダムのア オコ対策)	B	達成に向け、 進捗が見られる もの	主：農林水産課 副：生活環境課	▶ R1年9月に農水省で玄海町バイオマス構想に関するプレゼンを行い、同年11月に玄海町が「バイオマス産業都市」に認定された。 ⇒ R3年1月に玄海バイオ株式会社（原料供給）設立 R3年12月 グリーンファンドの出資が決定 R4年3月 建設予定地の農地転用許可 R4年4月1日より建設工事を始め、R5年6月の本格稼働を目指す。 ▶ アオコ対策について、アオコ環境影響評価指針調査（H29～H31）の結果を事業者（西日本技術開発㈱）に確認依頼。対策に係る検証を実施。 ⇒ アオコ抑制のためにはリンや窒素を抑制する必要があるが、現状のバッキで循環させることが最も良い対策との回答あり。今後は、国営かんがい排水事業の計画を進める中で、バッキ以外のアオコ対策ができないか検討・調整を行う。 ▶ 有浦川の水質検査結果を確認し、窒素及びリンの数値に大きな変化はなかった。今後も継続して調査を行い、数値を注視していく。
3-2	住環境の整備 (宅地造成や空き家等対策)	B	達成に向け、 進捗が見られる もの	主：まちづくり課	▶ R2年度から空き家バンク制度を開始。 ⇒ R4年2月末現在・・・空き家登録物件30件、空き家利用者登録者42件 ▶ 空き家バンクリフォーム等促進事業補助金について、R3年度から空き家解体補助を拡充。（上限額50万円→100万円） ⇒ R4年2月末現在・・・17件 ▶ 宅地造成について、R2年10月に江北町へ視察を実施し、予算面、事業スケジュール等を庁内関係課にて協議した。町北部地域及び南部地域の宅地造成候補地を含む事業計画を作成し、準備を進める。南部地域については、佐賀県が実施している有浦川河川整備を踏まえて選定する。 ▶ 町営住宅について、R2年度及びR3年度にPFI協会とアドバイザー契約を締結し、町営住宅の建設に向けた候補地の選定、実施方針案等を精査している。 ▶ R3年5月から定住政策を重要な任務とする地域おこし協力隊員を任用した。 ⇒ 空き家バンクの窓口・問合せ対応、PR活動、SNSによる情報発信等 ▶ R1年9月議会にて玄海町空家等の適正な管理及び活用の促進に関する条例を制定した。 ⇒ R3年度から空家等除却促進事業補助金を拡充。（上限額50万円→100万円）

【方針】

- ▶ 宅地造成候補地の選定
- ▶ 町営住宅の建替え

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
3-3	防災体制の強化 （危機管理対策と防災・避難計画の見直しと整備） 【方針】 ▶ 防災センターの設置	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：防災安全課 副：まちづくり課	▶ R2年2月から 防災専門官を任用 し、近年頻発している豪雨や台風等の大規模災害に対して、より効果的な防災・減災対策の取り組みを強化している。 ⇒ 災害対策基本法の改正により避難勧告・避難指示が一本化され、R3年度出水期から運用されることに対応するため、感染流行下かつ新基準での防災体制の実効性の向上を図るため、R3年6月に 総合防災訓練 を実施した。 ▶ R2年度から原子力に関する知識、経験を有する者を 原子力アドバイザー として委託し、役場にて従事。（月10日程度） ▶ R3年8月に地域防災計画、国土強靱化地域計画などの 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた防災関連計画 を策定した。
3-4	防犯体制の充実 （防犯灯や街灯のLED化、防犯灯の維持管理を町に移行）	A	達成済	主：まちづくり課	▶ R2年度から地区管理の防犯灯を町へ移行し、 維持補修を町で実施 しており、統合型GISシステムで、防犯灯の管理ができるよう整備する。 防犯灯の電球が切れたタイミングで、蛍光灯の防犯灯から順次 LED化 を実施している。 ⇒ R4年2月末現在 LED化実施基数：200基

4. 心やすらぐ町づくり

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
4-1	自然や景観を生かした観光振興（天狗岳構想） 【方針】 ▶ 浜野浦の棚田の振興 ▶ 玄海海上温泉パレアの利活用	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：企画商工課 副：まちづくり課	▶ R1年度に策定した棚田整備計画について、R2年8月に浜野浦区民・地域婦人会を対象に 地元説明会 を実施。引き続き関係者との意見交換を行い、今後の方向性を検討する。 ▶ パレアについて、R元年度・R2年度に実施したサウンディング型市場調査にて民間の意見を取り入れて、 パレアの入浴料等の改正、指定管理料の引き上げ、指定管理期間の変更（3年→5年） 等をR3年度から実施した。また、R2年10月に RVパーク2台 をパレア駐車場に設置した。 ▶ 天狗岳について、R2年度から観光の振興を目的として実施する事業の広報に要する経費及び観光地の維持管理に要する経費を目的とした 玄海町商工観光事業補助金 を創設した。R2年度は、天狗岳遊歩道整備事業として補助を行っている。 ▶ R3年度に町の観光振興及びイメージアップ等を図るため、 玄海町観光大使 を募集し、AYAKA氏（女優）と井上拓斗氏（バドミントン選手）の2名を任命した。
4-2	歴史・スポーツ・生産品などの活用（合宿の里構想、食などの観光開発） 【方針】 ▶ 合宿の里構想	C	進捗度の低いもの	主：企画商工課 副：教育課	▶ 合宿の里構想については、町民会館を中高生の修学旅行生による利活用等が想定されるが、宿泊設備や空調設備が整っていない。 R4年度に社会体育館空調設備設置工事及び町民会館空調設備設置設計業務を発注し、 整備期間中に料金体系の見直しを行う予定 としている。
4-3	歴史の再認識（マンガや副読本での普及）	D	未実施	主：教育課	▶ 町史の概要版、副読本の作成については事業実施の方法を検討していく。

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
4-4	文化の発展（文化活動の支援、文化行事の充実）	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：教育課	▶ 子どもから高齢者まで幅広い層に日本の文化を身近に感じてもらう機会を提供するため、文化人や歌手等を選定し、毎年文化講演会を開催していく。 ⇒ R1年度は、11月2日に文化講演会（歌手：丘みどり氏）実施。 ⇒ R2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により中止。代替案として、R3年1月に映画上映会を開催した。 ⇒ R4年度に文化講演会の実施を予定している。（コンサート等を想定） ▶ 町を題材とした小説、イラスト等を全国公募し、文化活動を通じて町のPRをするため、R3年度に文芸作品公募事業を実施した。 イラストコンテスト及び小説コンテストを開催し、イラスト221作品・小説231作品が応募された。今後、町をPRする際には、入賞作品を活用し町の認知度向上を図っていく。 ⇒ R3年度繰越事業としてイラストコンテスト及び小説コンテストでの受賞作品をまとめて書籍化をする予定としている。3,000冊を作成し、全戸配布、九州内の図書館、町の広報イベントでの配布を予定している。
4-5	スポーツ活動の活性化（プロを育てる環境の充実）	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：教育課	▶ R3年10月にスポーツによる地域交流や人材育成、健康づくりなどを目的とした交流宣言をサガン鳥栖と締結しており、サガン鳥栖から外部コーチの派遣ができるかどうか検討を行っている。
4-6	町おこしグループへの支援	A	達成済	主：企画商工課	▶ まちづくり活性化促進事業による支援。 ▶ 町のにぎわい創出・地域づくり団体等の活性化・持続可能な地域づくりの推進を目的とした地域イベント事業費補助金（補助上限額30万円）をR2年度から新設した。 ⇒ R2年度事業：玄海町のバスケの火を灯そう事業、グルメスタンプラリー事業 仮屋湾産 牡蠣・サザエ特売会事業 等 ⇒ R3年度事業：シーカヤック体験会、おはなしやさんてんとう虫のマルシェ 世界にひとつだけのボンダート創作
	【方針】 ▶ 月に1回イベントが開催される町				

5. 自立した町づくり

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
5-1	政策推進室の設置と機構改革 【方針】 ▶ 政策推進室の設置 ▶ 機構改革の実施	A	達成済	主：総務課 主：政策推進室	▶ H31年4月に政策推進室を設置し、同年10月に機構改革を実施した。 ⇒ 機構改革実施後の検証として、R2年3月に職員対象のアンケート調査を実施。 ⇒ 事務分掌の適正化を図るため、R3年3月課長会にて協議。 空家関係業務の集約化のため、R3年4月からまちづくり課にて所管した。 ▶ 多様化する行政課題に対し、政策や意思決定の迅速化を図り、庁内の連携や調整を円滑にするための体制を強化することを目的として、政策推進室と企画商工課を統合するための条例改正をR3年12月議会で上程しR4年4月から体制を変更する。 今後も行政サービスの向上及び行政事務の効率化を図るため、組織体制の見直しを継続していく。
5-2	職員提案制度および公聴の拡充（行政管理のボトムアップ、町民の声への対応の公表）	C	進捗度の低いもの	主：防災安全課 主：総務課	▶ 広報玄海のアンケートについて、庁内へ周知し、情報共有を行うだけでなく質問や要望等への回答コーナーとして、「じいやに聞いてみようのコーナー」をR2年11月号から不定期で掲載をしている。 今後も、町民の身近な疑問に答えるコーナーとして、充実させていく。 ▶ 職員提案制度について、R2年11月に策定した玄海町行政改革大綱の中で改革項目（人材育成）に職員提案制度の見直しを挙げている。 提案を契機に、庁内外の議論を促し組織横断的な施策を推進するため、職員が自発的に提案しやすい制度になるよう見直していく。
5-3	財政計画と納税制度の見直し（10年の財政計画策定、納税回数増） 【方針】 ▶ 住民税、国民健康保険税等の納期数増による負担軽減	A	達成済	主：総務課 主：住民課	▶ H30年度に策定した長期財政計画を基本とし、R2年度に中期財政計画の見直しを行い、長期財政計画に反映させた。 また、R3年度は、町有施設である13の施設の個別施設計画（長寿命化計画）の算定費用を新たに反映させるため、担当課と協議をしている。加えて、町財政に占める割合が大きい電源交付金等の今後の見込みについても、長期財政計画及び中期財政計画に反映させ、より実態に即した計画とするための改訂を進めている。 ▶ 納税者の負担軽減のため、住民税及び固定資産税の納期数の変更に関する改正税条例をR1年9月議会に上程し、R2年4月から改正後の運用を開始した。 ⇒ 住民税：8期から10期へ変更 固定資産税：4期から10期へ変更

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
5-4	教育・スポーツ・医療・企業誘致・産業育成などあらゆる分野での産学官連携	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：企画商工課 副：教育課 副：健康福祉課 副：農林水産課	▶ R3年10月に一般社団法人石積み学校と棚田の保全や担い手の育成を目的として棚田保全に関する連携協定を締結した。棚田の景観や魅力を継承していくため、講習会などを通して石積み技術の普及に繋げていく。 ▶ R3年10月にスポーツによる地域交流や人材育成、健康づくりなどを目的とした連携協定をサガン鳥栖と締結した。今後、プロスポーツチームと連携し町内のスポーツ活動の活性化を図っていく。 ⇒ R4年度に玄海町の子ども達向けに「サガン夢先生」事業を行い、将来に向けた意欲の向上を図ることとしている。 ▶ H28年度から海洋教育を官学連携（東京大学）により取り組んでいる。また、西南大学及び九州産業大学と国際交流、異文化交流による連携も行っている。 ▶ R3年3月から移動スーパー「とくし丸」による移動販売が開始されたことに伴い、高齢者の異変をいち早く発見し関係機関へ連絡調整を行うため、玄海町高齢者見守り活動に関する協定を株式会社Aコープ九州と締結した。 ▶ 薬草園について、九州大学と薬草の研究分野の協定を締結。 ⇒ 薬草事業だけでなく、教育分野での玄海みらい学園との連携についても検討していく。

進捗度指標A「達成済」及びB「達成に向け、進捗が見られるもの」を合計したものを達成度として設定し、合計30項目の評価結果を集計したところ下記のとおりとなりました。

進捗度・達成度					
※R4年3月31日時点					
進捗度	A	達成済	8項目 / 30項目 ⇒ 26.7%		
	B	達成に向け、進捗が見られるもの	19項目 / 30項目 ⇒ 63.3%		
	C	進捗度の低いもの	2項目 / 30項目 ⇒ 6.7%		
	D	未実施	1項目 / 30項目 ⇒ 3.3%		
達成度	A・B	達成済 又は 達成に向け、進捗が見られるもの	27項目 / 30項目 ⇒ 90.0%		